

YMCA News



第9回 名古屋YMCA大会

もっと知って繋がろう! 今から未来へ ～ALL NAGOYA, ALL TOGETHER～



2022年度名古屋YMCA大会へのご招待

実行委員長 オルソンキクチ 三恵

YMCA大会に参加されたことはありますか? YMCA大会は、Yに関わっている方や興味がある方どなたでも参加できます。是非、今年の名古屋YMCA大会に足を運んでください。

年に一回、9月に開かれるYMCA大会は、7名の実行委員が大会のテーマを話し合い、何回かミーティングを重ねて当日を迎えます。参加者にYとのつながりを喜んでもらえるように思いを込めています。コロナ感染が拡大する中、2020年と昨年2021年はオンラインで大会を開催しました。しかし、今年の大会は対面で実施をしようと、実行委員会では満場一致で決定しました。この2年間のオンライン集会から抜け出して、今まで話せなかった人、知らなかった人、しばらく会えなかった人と会えるようにするためです。

また、名古屋YMCAの中でも事業所が違っていると誰が何をしているかわからないという発言を受け、お互いがよく知りあえる大会になるよう、名古屋YMCAの各事業所のスタッフが活動紹介とこれからのビジョンについてプレゼンテーションをします。是非、各現場でどんな人が何をしているか、見て感じてください。知り合うことにより、これからの名古屋YMCAの活動を共に支え合い、より良くなっていくことを願います。

スタッフとリーダーだけでなく、Yに関わる全ての人たちが、共に祈り、より一層積極的に活動ができるようになります。

良いと考えています。

今、日本ではオミクロン株が猛威をふる

っていますが、この夏にアメリカに滞在したらほぼマスクレスの生活で、一見、社会がコロナ前の生活に戻っているようでした。しかし、3年ぶりに訪れた場所や人々の生活は少し変容していました。物価の高騰や、政治の考えも右と左により深く分断されていました(それはコロナだけが原因ではありません)。そして、ソーシャルディスタンスやスキップの制限、マスクで口を覆い最低限の会話と限られた人との付き合いを余儀なくされてきた生活の後遺症みたいなものを感じました。一言で言うと、「内向きの社会」を感じました。今回の対面での大会が、「内向きの社会」から「外に向かって開かれていく社会」に繋がればと思います。

どうか可能な方は、南山YMCAで行うYMCA大会にお出かけください。対面で顔を見て声をかけ合い、今まで知らなかった人たちとも出会いませんか? 私たちにはYという共通点がありますから、躊躇なさらず、お越しください。会場でお会いするのを楽しみにしています。

第9回 名古屋YMCA大会 もっと知って繋がろう! 今から未来へ ～ALL NAGOYA, ALL TOGETHER～

日時 2022年9月10日(土) 10時～12時15分
※受付開始9時45分より

会場 南山ファミリーYMCA

申込 YMCA窓口へお申し込みください。

※電話 本館757-3331・南山831-6968・神沢879-6222

※Eメール info@nagoyaymca.org

※オンライン参加を希望の方は、申込時にメールアドレスを教えてください。ミーティング情報を大会前日までにお知らせします。

コロナ禍からアフターコロナ、そして未来へ。私たちYMCAに連なる1人ひとりをみつめ、未来への歩みを実感しましょう。第9回は対面での実施となります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

10:00 ～ 礼拝 日本キリスト教団 南山教会 村山盛芳牧師

10:20 ～ 永年会員表彰・ユースボランティア認証

10:30 ～ 総主事報告 中村隆総主事

10:45 ～ 『今、そして未来へ』

～YMCAを知り、お互いを知ろう～

活動報告 ・公益財団法人 ・学校法人
・ワイズメンズクラブ ・リーダー会

12:10 ～ 閉会のご挨拶

報 告

2022年度 学童キャンプ

今年度もたくさんの方々のご支援の下、学童キャンプを実施することができました。2期合計51名が、日和田キャンプ場の大自然の中でのびのび過ごしました。夏休みになってからコロナの第7波が押し寄せ、キャンプ直前に参加することができなくなってしまったお友だちもいましたが、2期とも無事に実施できたことにホッと胸をなでおろしています。



このキャンプの目的は「たくさん食べ、たくさん寝て、たくさん自然で遊ぶ」ことです。子どもたちの、朝から晩まで元



気に遊びまわる姿は私たちの喜びです。とりわけキャンプ場前の池とハンモックススペースは、今年も人気スポット!「ごはんだよ〜!」の声にも反応がないくらい魅力的なスポットです。雨の多かった今年の日和田キャンプ場でしたが、大人気の川遊びやドラム缶風呂をはじめ、キャンプファイヤーも楽しむことができ、子どもたちもうれしそうでした。

また、高学年の参加者が、グループのリーダーとなって低学年のフォローをしたり困っているお友だちに声をかけたりと、頼もしい姿を目にすることもたくさんありました。学童キャンプでの思い出の一つひとつが、みんなの心に育つ「優しい芽」や「チャレンジの芽」を健やかに育むための肥料のようになることを願っています。

(学童キャンプデレクター 成瀬 祥子)

報 告

名古屋YMCA市内
中学生バスケットボール大会

3年ぶりにトーナメント方式での開催となった男子第65回、女子(ロータリー杯争奪)51回を迎えた今年の大会は、7月26日から8月6日にかけて、6カ所のスポーツセンターを会場に実施されました。3年生にとっては部活動の集大成となる大会だけに、各試合とも熱戦が繰り広げられました。

各チームとも十分に感染防止対策を行なってエントリーされましたが、男女各92チームのうち男子6、女子4の合計10チームが、コロナ感染対策の関係で大会前及び途中に棄権と



なったのは残念でした。各チームとも日頃の練習の成果を存分に発揮し、男子の部は名古屋市立長良中学校、女子の部は名古屋市立御田中学校が今年の頂点を極めました。

(ボランティアセンター 坂本 清則)



男子の部

- 優勝 名古屋市立 長良中学校
- 準優勝 名古屋市立 富士中学校
- 第三位 名古屋市立 扇台中学校
- 第三位 名古屋市立 有松中学校

女子の部

- 優勝 名古屋市立 御田中学校
- 準優勝 名古屋市立 昭和橋中学校
- 第三位 名古屋市立 浄心中学校
- 第三位 名古屋市立 神沢中学校

報告

名古屋YMCA日本語学院の夏

暑い日が続いています。この春に初めて来日した学生たちからは、「日本がこんなに暑い国だとは知らなかった」という声が聞かれます。慣れない環境の中で、学生たちは日々、日本語学習に励んでいます。



そんな暑い夏に行った、2つのイベントをご紹介します。

1つめは、「浴衣体験」。学生たちは、浴衣を選ぶところから大はしゃぎでした。チューターさんや非常勤の先生方に着付けを手伝っていただき、6階に設置した写真スポットで何枚も記念撮影。きっと、よい思い出になったのではないのでしょうか。もう1つは、今年が2回目の開催となる「クラススピーチ大会」。学生たちは何度も原稿を書き直し、内容を覚え、話す練習を繰り返しました。当日はそれぞれの学生がこれまでの成果を発揮し、みんな達成感あふれるよい表情をしていました。



日本語学校の夏は、日本の文化を体験した夏、そして日本語の向上に向けて一人一人ががんばった夏となりました。

(主任教員 犬飼 英男)

報告

かみさわ保育園の夏

3年ぶりに保護者の方をお招きして夏まつりを開催することができました。RSウィルスの流行や新型コロナウイルス感染の再拡大の中で、たくさんの方を招き入れて本当によいものかと、最後の最後まで迷いました。しかし、園としてできる対策をして、また参加される家族のご協力をいただいて実施しました。おまつりをイメージした各コーナーは、子どもも大人も楽しめるものと考え、子どもたちが手掛けたものも飾られました。またおたのしみシアターは先生たち推薦の絵本から投票で決定し、あみだくじで役決め、そして収録をしました。もちろん何度もやり直しはありましたが、それもまた楽しい時間となりました。

たくさん子どもたちがゆかたや甚平に身を包み、親子でうれしそうにすごす様子を見ると、やっぱり肌で感じられる時間を共有するこ



とは、子どもたち、保護者だけでなく、園にとっても大切なことだと感じました。コロナ禍の中で、どんなことも今まで通りにすることは難しいですが、子どもたちの経験や体験の機会を失くすのではなく大切に、そしてお家の方とともに、たくさんの喜びを分かち合うことのできる園でありたいと思います。

(園長 東田 美保)

総主事コラム

私たちのSDGs

山歩きをしていると、植林された人工林は薄暗く、鳥や動物など生き物の息吹を感じることはありません。一方、天然(生)林は植生が豊かで多様性に溢れ、木の実に誘われ鳥や動物が集まってきます。落ち葉が土壌を豊かにし、雨が降っても川が濁ることなく、地中浸透した雨水が長い年月をかけ浄化され、湧き水となって私たちの喉を潤してくれます。豊かな山が川を守り、山中から流れ出る養分が海の生物を育てています。「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」がSDGs「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の目標とされるずっと以前から、昔の人々は生活の知恵として、豊かな森が豊かな海を育むことを知っていました。なぜか最近では、人工林から天然林へと転換されるべき山肌に、メガソーラーが設置された風景に出会います。少し前には、ヒートアイランドを防ぐため

に屋上緑化が推進されていましたが、今は太陽光パネルの設置が日当たりに関係なく義務化される時代です。円安や国際紛争を理由に電気代が値上げされたと言われていますが、なぜか電気代明細に2012年以降再生エネルギー賦課金に加えられ、当初0.22円/kwhだった賦課金が2021年には3.36円/kwhと15倍になっています。

野外活動の基本は、自然の恵みを最大限に活かしながら、不便な環境の中で工夫して生活を豊かにすることにあります。冷房がなくても木陰は涼しく、黒いゴミ袋に水を溜めて日向に置いておけば熱湯？シャワーに。生ごみは堆肥にし、燃えるごみは焚き付けに。私たちのSDGsは、大量消費社会から脱却したローインパクトな生活の実践です。日々の暮らし方をひとり一人が根本的に見直し、質素で浪費のない生活を楽しむことが大切ではないでしょうか。

(中村 隆)

告知

2022開催
YMCAインターナショナルチャリティーラン

YMCAインターナショナルチャリティーランは、心身に障がいのある子どもたちを支援すると同時に、この活動を通じて『真に豊かな社会』への関心が高まることを願い、全国のYMCAで開催されています。多くの個人、企業の皆さまから大会を通じてお寄せいただきました支援金は、障がいのある子どもたちのためのプログラムに用いられます。名古屋の



チャリティーランは今年で29回目を迎えます。走って支援、寄付して支援。皆さまのご参加、ご支援をお待ちしております！

*詳しくはお問い合わせください。

(担当 東田 美保)

《予定》

- ①WEEK 2022年10月1日(土)～30日(土) 動画を投稿
②1 DAY 2022年11月5日(土) 午前 於：名城公園

告知

名古屋YMCA早天祈祷会300回！

世界で最初のYMCAがイギリスで誕生してから今年で178年になります。YMCAは“Young Men's Christian Association”の略で、日本語では「キリスト教青年会」と訳されています。英語の辞書なら“Y”の項目に、国語の辞書なら“わ”の項目に記載されているほど、一般に広く浸透した名称です。

YMCAは、当時22歳のジョージ・ウィリアムズを中心に集まった12人のクリスチャン青年たちの祈りの会から誕生しました。ここでは紙幅の関係で当時やその後の歴史の説明は割愛しますが、YMCAの原点は“志ある人々が集まってともに祈る”ことにあるのです。

名古屋YMCAも120年前の草創期から今日に至るまで、さまざまな活動・行事・会議などは祈りをもって始められて

います。その祈りを定例化したものが「名古屋YMCA早天祈祷会」です。手元にある毎回の出席者芳名帳には、1983年7月が初回として記録されていて、来たる9月6日で300回目の節目を迎えます。毎月(1月・8月は休会)第一火曜日に原則開催しているのですが、1年に10回として300回は30年にあたります。途中諸事情で休会していた時期や、最近ではコロナの影響で開催を見合わせた期間などがあり、今年で足掛け39年目を迎えています。

かつては参加者一人一人が順次祈っていましたが、現在は2名が代表で祈っています。ですから、クリスチャンであるなしに関わらず、関心のある方はどうぞお気軽に参加してみてください。そして、YMCAの働きの原点を体験してみてください。(ボランティアセンター 坂本 清則)



維持会員感謝・ご寄付感謝

維持会員
(継続)

(2022年7月27日～2022年8月23日)

木村眞智子 伊左治 真 林 敦子 平野 実郎 星島 和空
秋重 殉 小澤 昭之 小澤 順子 久保田 啓 山口 榮三
井上 剛志 川口 恵 中山 惇雄 種村 芳枝 磯部 徹
吉田 一誠 吉田 美子 寺本 英郎 伊藤 暢浩 荒川 恭次
荒川 恒子 高橋 典子 中村 隆

(新入)

水谷 悟 松田 翼 原 寛

賛助会員(継続)

愛知こどものとも社

名古屋YMCA120周年記念募金

義井 裕子 下村 徹嗣 吉川 裕子 中井 信幸 西村 清
伊藤 暢浩 中村 隆 匿名有志

国際協力(ウクライナ緊急支援)募金

中井 信幸 伊藤 暢浩

学童キャンプ寄付

下村 徹嗣 吉川 裕子 木村眞智子 渡辺 真悟 小尾 雅彦
中井 信幸 高橋 栄一 游神会 種村 芳江 西村 清
探青会 中村 隆 名古屋グランパスワイズメンズクラブ

早天祈祷会 (300 回記念)

日時 9月6日(火) 7:45～8:30 会場 名古屋YMCA本館
奨励 西村 清 名誉理事

ワイズコーナー 9月例会の予定

名古屋	9月13日 (火) 19:00～	卓話「世界の現状に於けるハン ガーゼロの働き：ウクライナ支援 など」 講師 近藤 高史氏	名古屋 YMCA5F チャペル
名古屋 東海	9月8日 (木) 18:45～	卓話「学生気質 今と昔」 講師 ミッシェル・モローネ氏	ラースス ANN
名古屋 南山	9月8日 (木) 19:00～	秋に備えて備品整理	南山 YMCA
名古屋 グランパス	9月15日 (木) 19:00～	卓話「YMCAの活動理解について」 講師 遠藤 恵美子氏 (名古屋YMCAスタッフ)	名古屋 YMCA5F チャペル

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと 052-823-2021
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA
使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2022年度聖句

「主に望みを置く人は新たな力を得
驚のように翼を張って上る。」
(イザヤ書40章31節)